

2018

発行日 毎月1日 通算発行 383号

3



# 協会報



## 今月のトピックス

平成29年度石川県建設生産システム合理化推進  
会議の開催

(一社)石川県建設業協会理事会の開催

石川県土木部だより

建設業の担い手確保の支援

～平成29年度の主な取り組みについて～

石川県土木部監理課建設業振興グループ



石川の工芸シリーズ  
枇杷の葉に蝸牛 置物 <銅器会社 / 製 >

石川県立歴史博物館蔵

製作時期 / 明治 サイズ / 幅7.5cm x 長さ18.0cm x 高さ8.5cm 技法 / 鑄造  
銅器会社製作とされるカタツムリの置物。あまりに写実的なため、生きているカタツムリを蛸型にとったという逸話も残されている。銅器会社は、明治維新後職を失った金工師と金工技術の保護ならびに殖産興業を期して、明治10(1877)年、金沢長町川岸に水野光春、山川孝次、平岡忠蔵らを中心として設立された。同11年のパリ万国博覧会に出品したのを機にヨーロッパ市場への輸出を開始し、加賀象嵌の名を高めた。

“未来”を創り “ふる里”を守る 建設産業

発行所 一般社団法人

**石川県建設業協会**

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号  
TEL(076)242-116(代) FAX(076)241-9258

URL-<http://www.ishikenkyo.or.jp/>



石川の工芸シリーズ  
 びわは かたつむりおきもの  
 枇杷の葉に蝸牛置物  
 銅器会社/製

1	今月のトピックス	
	平成29年度石川県建設生産システム合理化推進会議の開催	2
	(一社)石川県建設業協会理事会の開催	3
2	石川県土木部だより	
	建設業の担い手確保の支援 ~平成29年度の主な取り組みについて~	
	石川県土木部監理課建設業振興グループ	4
3	平成29年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.2	
	明翫・酒井 特定JV	6
4	雇用改善コーナー	
	石川県立翠星高等学校生徒との意見交換会の開催	8
	金沢市立工業高等学校のインターンシップ感想文(2)	9
5	地区協会コーナー	
	白山の恵みを笑顔でもてなす交流の場 4月27日OPEN 「道の駅めぐみ白山」	
	(一社)白山野々市建設業協会	11
6	今月の「輝き！」さん No.36	
	昭和建設 株式会社 今牛智也さん	12
7	協会だより	
	地区協会事務担当者説明会の開催	13
	委員会の開催	13
	建築委員会	
	能登地区安全パトロールの開催	13
	土地改良委員会	
	技術検討部会と県農林水産部との意見交換会の開催	14
	広報・研修委員会	
	企画部会の開催	14
8	石川県土木施工管理技士会だより	
	JCMセミナー(DVD講習会)の開催	14
9	国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催	
	平成29年度「私たちの主張」応募作品の紹介	
	「建設業の未来」 株式会社 豊蔵組 井上 将	15
10	業界時報	
	労働災害発生状況	16
	平成29年度 建設工事受注高調(元請)	16
11	会員消息	17
12	県協会からのお知らせ	17
13	地区協会からのお知らせ	18
14	関係機関からのお知らせ	18

# ◆ 今月のトピックス ◆

## 平成29年度石川県建設生産システム合理化推進会議の開催

石川県建設産業連合会（会長 吉光武志）は、2月15日（木）金沢市の石川県建設総合センターにおいて「平成29年度石川県建設生産システム合理化推進会議」を開催した。

この会議は、建設産業を担う総合工事業と専門工事業が、対等の協力者として負うべき役割と責任を明確化し、分業関係に対応した合理的なルールづくり等を行うことを目的としており、今回は総合工事業の立場として（一社）石川県建設業協会から副会長と各委員長8名が出席、石川県建設産業連合会からは正副会長3名と当連合会28傘下団体の専門工事業から21団体（21名）が出席し、喫緊の課題である「働き方改革」や「建設現場における生産性向上に向けた取組み」、「建設キャリアアップシステム」を主テーマに、行政等の方を交えて、意見交換を行った。行政等からは北陸地方整備局や石川労働局、石川県商工労働部、石川県土木部のほか、建設産業界から全国建設産業団体連合会や建設業振興基金の9名の方々に出席を頂いた。

冒頭、吉光建産連会長が「建設産業界の現下の大きな課題は働き方改革と生産性向上であり、この課題に取り組むためには公共事業予算の継続的安定的な確保が最重要であることから、我々も全国建設産業団体連合会を通じて常に要望している」と挨拶。引き続いて北陸地方整備局の牧野建政部長からは「担い手の確保・育成、生産性革命、建設システムの改善、地域力の4項目を今後の方向性としており、特に働き方改革と生産性革命を車の両輪として、生産性を向上しながら、建設環境改善に向けた体制の構築を推し進めていきたい」と挨拶があり、その後北陸地方整備局建政部の建設業適正契約推進官から「建設業における最近の話題について」、建設業振興基金の建設キャリアアップシステム運営準備室総括研究部長から「建設キャリアアップシステムについて」情報提供をいただいた。

意見交換では、情報提供を踏まえ、総合工事業と当連合会傘下団体の各専門工事業から意見が交わされ、専門工事業の出席者からは建設キャリアアップシステムに対して「職人個々の資格や技能レベルなどの情報が公表となれば、優秀な職人が大手ゼネコンに引き抜かれたり、囲い込みが生じるのではないかと不安視する意見や「登録するメリットが事業者にはない」との指摘や、「実施は時期尚早」との意見が出された。これに対して、振興基金から「建設産業がこれだけ頑張っているというメッセージを伝えるためにもキャリアアップシステムは必要であり、技能者と育成する会社の両方に配慮しながら、制度への理解を広げたい」と回答。北陸地方整備局からは「皆さんの意見を本省にしっかり伝えたい。情報漏れの懸念については本省と振興基金が議論を進めている」との見解が示された。



吉光会長



牧野建政部長

### 平成29年度石川県建設生産システム合理化推進会議 出席者名簿

	所属機関	役職	氏名	代理出席者
【行政関係等】	北陸地方整備局 建政部	建政部長	牧野 浩志	
	北陸地方整備局 建政部	建設業適正契約推進官	辺見 和美	
	北陸地方整備局 金沢河川国道事務所	事務所長	富山 英範	工事品質管理官 万行 康文
	石川労働局 労働基準部	健康安全課長	藤井 健人	雇用環境改善・均等推進監理官 諸田 一良
	石川労働局 職業安定部	職業安定課長	越野 佳一	職業対策課課長補佐 武苗 薫
	石川県 商工労働部	労働企画課長	新谷 徹	課長補佐 中出 勤子
	石川県 土木部監理課	監理課長	藤村 一志	課長補佐 念介 重俊
	(一財)建設業振興基金建設キャリアアップシステム運営準備室	統括研究部長	田尻 直人	
	(一社)全国建設産業団体連合会	専務理事	竹澤 正	

	所属機関	役職	氏名	備考
【随行者】	北陸地方整備局 建設部	計画・建設産業課長補佐	青木 淳一	
	(一社)全国建設産業団体連合会	総務部次長兼総務課長	山田 安良	
	石川県 商工労働部	労働企画課 主査	中山 勉	
	石川県 土木部	監理課 主事	上前 明也	
【石川県建設産業連合会】	石川県建設産業連合会	会長	吉光 武志	石川県建設業協会 会長
	"	副会長	小倉 淳	石川県建設業協会 副会長
	"	"	柿本 自如	石川県管工事協同組合 理事長
	石川県電気工事工業組合	副理事長	中村 唯夫	
	石川県インテリア事業協同組合	理事長	宮本 外次	
	石川県型枠工事業協会	会長	石沢 秀昭	
	(一社)石川県建設コンサルタント協会	事務局	山本 主税	
	(一社)石川県建築士会	専務理事兼事務局長	塚田 律夫	
	(一社)石川県建築士事務所協会	副会長	榎木 修二	
	(一社)石川県建築組合連合会	副会長	田下 茂良	
	(一社)石川県交通安全施設業協会	会長	岡部 裕樹	
	石川県コンクリート製品協同組合	専務理事兼事務局長	廣瀬登喜夫	
	(一社)石川県左官業組合連合会	会長	石動 信明	
	(一社)石川県造園緑化建設協会	会長	岸 省三	
	(一社)石川県測量設計業協会	事務局	穴山 信雄	
	(一社)石川県地質調査業協会	会長	尾蔵 博	
	石川県鉄筋業協同組合	理事長	小寺洋志裕	
	石川県鉄骨工業協同組合	理事長	本田 信治	
	(一社)石川電設協会	政策委員	島田 淳也	
	石川県塗装工業会	会長	若宮 昇平	
	(一社)石川県舗装業協会	会長	北川 隆明	
	北陸地区サッシ類施工の会協同組合	代表理事	川島 董之匡	
	東日本建設業保証(株)石川支店	支店長	江川 浩	
【(一社)石川県建設業協会】	(一社)石川県建設業協会	副会長	平櫻 保	
	"	副会長	江口 介一	
	"	副会長	鶴山 庄市	
	"	常任理事(土木委員長)	竹腰勇ノ介	
	"	常任理事(建築委員長)	橋本 和雄	
	"	常任理事(土地改良委員長)	小柳 正彦	
	"	常任理事(広報・研修委員長)	高田 直人	
【地区協会】	(一社)金沢建設業協会	専務理事	大田 茂	
	(一社)加賀建設業協会	事務局	池田 信宏	
	(一社)小松能美建設業協会	専務理事	浅井 竹史	
	(一社)白山野々市建設業協会	専務理事	永森 敏明	
	河北都市土建協同組合	事務局	小笠原邦和	
	(一社)羽咋都市建設業協会	専務理事	吉岡 茂和	
	(一社)鳳輪建設業協会	専務理事	坂本 昇	
(一社)珠洲建設業協会	専務理事	坂本富士雄		

## (一社)石川県建設業協会理事会の開催

(一社)石川県建設業協会の理事会が2月15日(木)午前11時から石川県建設総合センターにおいて開催された。

冒頭吉光武志会長は本年大雪に伴う連日の除雪対策に対する会員の努力に感謝を申し上げますと挨拶。

続いて次の議題について審議・報告が行われた。

1. 建設業をめぐる最近の話題について  
最近の話題4件について辻専務理事より資料を示し説明が行われた。
2. 今後の行事予定及び会員受注高について  
事務局より説明が行われた。
3. 地区協会からの報告について  
各地区協会より行事予定、業界時報、社会状況についての報告が行われた。



# 石川県土木部だより

## 建設業の担い手確保の支援 ～平成29年度の主な取り組みについて～

石川県土木部監理課建設業振興グループ

### 1 はじめに

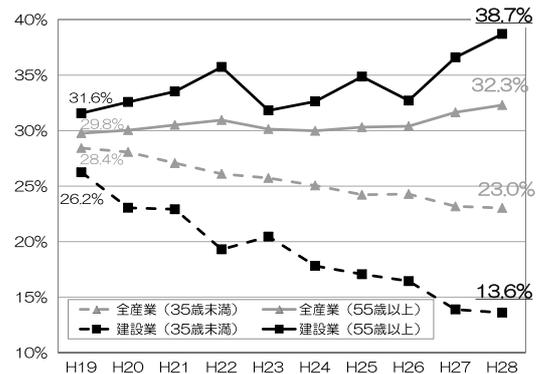
本県の建設業では、35歳未満の若年層の割合がこの10年間で大幅に減少するなど、担い手の確保が深刻な課題となっています。このため、県では、建設業における担い手確保に向けて、大きく3つの取り組みを行っています。

まず一つ目は、将来の担い手確保の支援として、大学・高専・短大の学生や高校生、さらには、小中学生とその親御さんに対する建設業のPRです。

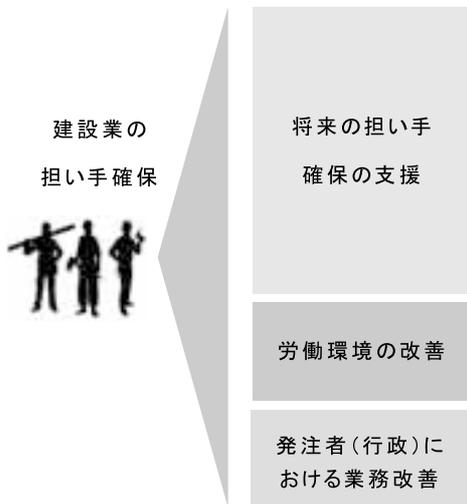
二つ目は、いしかわ土日おやすみモデル工事（週休二日制）の導入やICT建設機械の活用といった労働環境の改善です。

最後に三つ目は、われわれ発注者における業務改善として、入札制度の改革や総合評価方式の改善、発注見通しの統合などです。

今回は、建設業協会の皆さんの協力を得て、新たな取り組みも行った「将来の担い手確保の支援」について、主な取り組みをご報告します。



就労者の年齢構成の推移



- ①学生（大学・高専・短大）向け
  - インターンシップフェスへの建設業者参加呼びかけ
- ②高校生向け
  - 企業ガイダンスへの建設業者参加呼びかけ
  - 高校訪問による入職呼びかけ
  - 高校生現場見学会の開催
  - 他業種とのコラボ企画（パネルディスカッション）
- ③小・中学生、一般向け
  - 「はだしの王国」でのブース出展
  - 各土木事務所でのPR
  - いしかわ土日おやすみモデル工事の導入
  - 快適トイレの導入
  - ICT建設機械の活用推進
- 入札制度改革
- 総合評価の改善
- 発注見通しの統合（試行）

### 2 昨年度からの取り組み

#### (1) 学生（大学・高専・短大）向け

就職活動前の大学3年生などを対象に、企業が直接、インターンシップの情報を提供する「いしかわインターンシップフェス」を、5月に開催し、建設業12社（うち県建設業協会会員企業4社）を含む約230社に参加していただき、昨年度の1.6倍にあたる約1,700名の学生が集まりました。



「いしかわインターンシップフェス」

## (2) 高校生向け

就職希望者の約8割にあたる約1,900人の高校生が参加した7月の「高校生を対象とした企業ガイダンス2017」には、建設業36社（うち県建設業協会会員企業12社）を含む191社に参加していただきました。建設業ブースには、延べ約900人の高校生が集まり、参加した企業の方々からは、仕事内容や建設業の魅力についてアピールしていただきました。

また、夏休みには、新県立中央病院建設工事や海側幹線橋梁工事などの現場見学会を開催したほか、金沢伏見高校と寺井高校の高校生を対象に、個別に見学会を実施していただきました。



企業ガイダンス



夏休みの現場見学会



金沢伏見高校 現場見学会



寺井高校 現場見学会

## (3) 一般向け

小中学生とその親御さん、さらには広く一般の方々への建設業のPRとして、10月に奥卯辰山健民公園で開催された、子ども向けイベント「はだしの王国」において、石川県建設業協会建設青年委員会と共同で、土木・建築に関するブースを出展し、約700名の方々に参加いただきました。



「はだしの王国」建設機械でのボールすくい

## 3 今年度の新たな取り組み

今年度から、いわゆる進学校も含めた県内全高校55校を訪問し、将来の職業選択に向けて建設業の魅力を伝えるとともに、職業講話・意見交換会の開催についても働きかけました。その成果として、今年度は小松北高校、金沢泉丘、金沢桜丘、内灘高校、七尾高校において、職業講話・意見交換会を開催し、小松北高校と内灘高校ではドローンの実演を行うなど、生徒に直接建設業の魅力を伝えることができました。



金沢泉丘高校 職業講話・意見交換会



金沢桜丘高校 職業講話・意見交換会



内灘高校 職業講話・意見交換会

また、今年度は、金沢北陵高校、金沢商業高校、翠星高校において、異業種である福祉分野(健康福祉部)と連携したパネルディスカッションを実施し、参加した生徒からは、「建設業のイメージが変わった」「建設業への興味が少し深まった」など、好意的な意見が聞かれました。

その他にも、各土木事務所においてもPRイベントを実施しており、今年度は、官民協力のもと、建設業の魅力をこれまで以上に伝えることができたと考えております。

将来の担い手確保に向けては、継続した取り組みが重要であり、来年度以降も皆様とともに取り組んでいきたいと考えていますので、引き続きご協力お願い申し上げます。



金沢商業高校 パネルディスカッション

# 平成29年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.2

施工企業名：明翫・酒井 特定JV

工事名 金沢港 港湾機能施設整備(荷役機械)工事  
(基礎工その2)

工事分野 港湾漁港工事

施工場所 金沢市戸水町 地内

工事概要

施工延長 L=75.3m

鋼管杭工

Φ1000 N=15本

Φ900 N=15本

Φ800 N=15本

基礎梁工 L=75.3m

工期 平成28年6月1日～平成29年3月24日

推薦理由

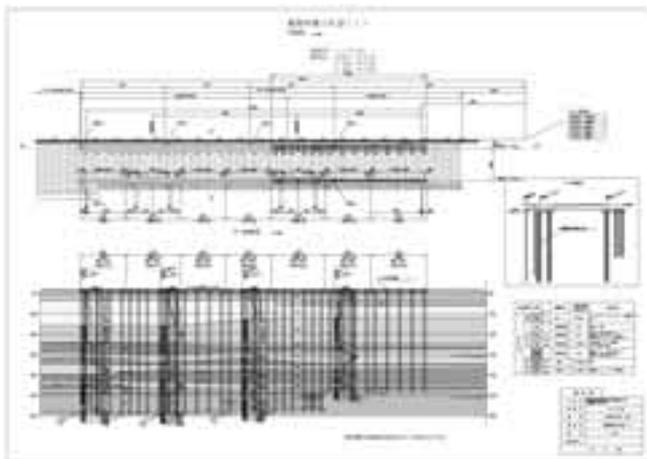
本工事は金沢港のさらなるコンテナ貨物量の増加に対応するため新たに整備するガントリークレーンの基礎工事である。杭打設においては、リバウンド計測システムを用い精度の高い施工管理を安全に行い、レールの躯体施工時においては、コンクリートのひび割れ対策として温度解析を行い弱部の補強を実施し、寒中対策として温風循環による保温養生を行うなど品質の確保に努めた。また、現場見学会を開催する等地域貢献度も高かった。



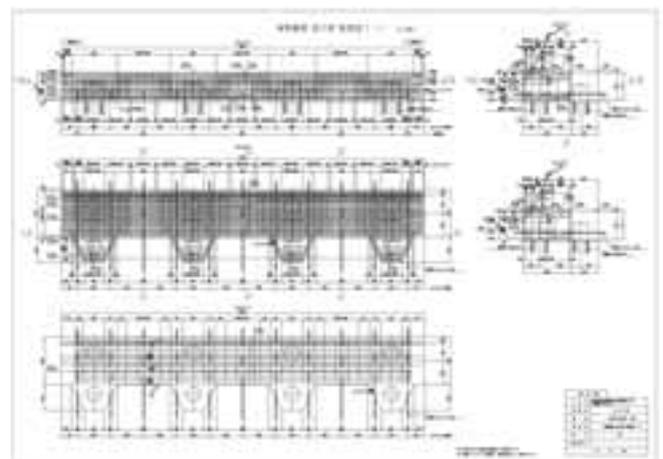
完成（杭工事）



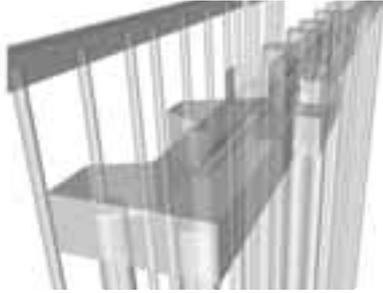
完成



基礎杭根入図



基礎梁配筋図



3D図面作成による打合せ



鋼管杭中掘状況



鋼管杭最終打撃状況



リバウンド計測システム



鉄筋組立状況



生コン打設状況



コンクリート養生（仮囲い）



給熱養生

現場代理人のコメント



現場代理人  
細川 充氏

はじめに

本工事は、金沢港のコンテナ取扱量の増加に伴う対応とガントリークレーン1基体制のリスク分散の為、2基目のガントリークレーン整備を行う事となり、当工事では主にガントリークレーンの基礎部分（基礎杭の打設と基礎梁の作成）の工事でした。

工事概要

工事の内容としましては、杭径φ800～φ1000、杭長約50mの中掘最終打撃による鋼管杭工45本と延長160mの基礎梁躯体の工事でした。

品質管理

- ・鋼管杭の支持層管理に留意しました。事前にボーリング調査を数箇所行い、既往データと照らし合わせて想定地盤線を作図し、支持層を決定、鋼管杭を発注しました。
- ・施工時にはリバウンド計測システムを使用して、貫入量、リバウンド量、打撃回数を電算管理し、打ち止め管理を行いました。
- ・基礎梁躯体コンクリート施工において、冬季寒中コンクリートの品質向上に留意しました。事前に温度応力解析を行い、養生方法・養生期間を決定しました。施工時にはコンクリート打設箇所全体を仮囲いで覆い、ジェットファーンネスによる給熱養生を行い品質向上に努めました。

安全管理

- ・安全管理に留意した点は金沢港のSOLAS区域内での作業でしたので、荷役業者と運搬車両の搬入出や工事区域、施工時期など密な調整を行うことで安全第一に作業を終えることができました。
- またクレーン工事や杭打機の工事が主であり、冬時期の強風の管理として現地には警告ランプ付の風速計を設置し、早めの作業中止判断に役立てました。

おわりに

最後になりますが、この度、優良建設工事知事表彰を頂きましたことは、まことに身にあまる光栄であり、厚く御礼申し上げます。また金沢港港湾施設利用の方々の工事に対するご理解とご協力並びに石川県金沢港湾事務所ご担当及び課職員の皆様のご協力、ご指導に感謝申し上げます。

## 雇用改善コーナー

### 石川県立翠星高等学校生徒との意見交換会の開催

(一社)石川県建設業協会(会長 吉光武志)は、(一社)白山野々市建設業協会(会長 北野一郎)と合同で、2月2日(金)に翠星高校を訪問し、環境設計分野の2年生18名と意見交換会を行った。同校との意見交換会は、白山野々市建設業協会の青年委員を中心として開催した。

冒頭、白山野々市建設業協会の西村一正副会長から「建設業は高い給料・休暇・希望の新しい13Kを目指して取り組んでいる。その魅力を知ってもらい、地元の建設業に入ってもらえれば幸い。」と挨拶し開会した。

建設業を紹介する「未来を創りふるさとを守る建設産業」のDVDを鑑賞した後、同校のOBより以下の内容でプレゼンテーションが行われた。

- ・現場監督の1日((株)ヨネミツ 山本 岳)
- ・会社に入ってからライフサイクル((株)北野組 北野大輔)
- ・先端技術機器の紹介((株)共和建設 若島 聡)

休憩を挟んだ後、生徒6名、青年委員2名ずつの計8名が1つのグループとなり、合計3グループ分かれ意見交換を行った。生徒からは、「給料について」「休日について」「仕事の内容について」「残業について」などの質問が活発に出るなど終始賑やかに意見を交換した。

最後に参加生徒1人1人より今日の意見交換を通して感じたことを発表し、「悪いイメージが良くなった。」「仕事を早くしてみたいと思った。」「建設業に興味がでてきた。」などの感想が述べられ閉会となった。



## 不慮の災害事故発生にそなえて

全建協連総合補償制度  
自動車保険

お問い合わせは・・・



石川県総合建設業協同組合

損害保険ジャパン日本興亜株式会社  
損保ジャパン日本興亜保険サービス株式会社

TEL 076 - 231 - 7787

FAX 076 - 231 - 7766

〒920 - 0919 金沢市南町5 - 20  
中屋三井ビル2F

## 金沢市立工業高等学校のインターンシップ感想文(2)

監督さんの仕事の大変さに気づくことが出来ました。

金沢市立工業高等学校2年建築科 小島怜真  
(受入れ企業 みづほ工業株式会社)

私は24日から28日の5日間、みづほ工業さんにお世話になりました。初日は本社に、2、3日目は病院の現場に、4、5日目は奥卯辰山健民公園管理センターの現場に行かせてもらいました。

本社では朝礼後、積算とCADをさせていただきましたが、とても難しく、できなかったのが、とても悔しかったです。CADでは敷地内に収まるように間取りを考え、下書きはうまくできましたが、CADで隣地境界線に壁、開口部を書いてしまい、失敗してもっと勉強しなければいけないと思いました。

病院の現場では、授業でしたことがない、外壁にタイルを張るための墨付けをしました。少しでもずれるとタイルがはれないので、丁寧に墨付けをしなければいけなかったのが、気を使いました。また、レベルでは監督さんの力もお借りして、タイルの高さを測りましたが、上か下かをうまく言えず、監督さんに大変迷惑をかけてしまいました。型枠の解体では、あまり釘を抜くことができなかったのですが、数をこなしていくと作業の効率も上がりました。ですが、慣れた頃に油断して板から出ていた釘を踏んでしまうという、危ない体験をしました。いつでも注意をして行動しなければいけないと思いました。

奥卯辰山の現場では、杭打ちを見ました。監督さんに、2種類の杭をジョイントして使用していること、そしてジョイント方式が昔は溶接だったが、今回はベアリングでしていること等、作業についていろいろと教えていただきました。また、立入禁止の虎ロープを張る作業では、始めようとしてロープを引いてすぐにロープが絡まり、ほどくの間に時間がかかってしまい、作業を遅らせてしまいました。現場事務所ではとても多くの現場写真と設計図書を見て、監督さんの仕事の大変さに気づくことができました。

実習を終えて、僕は本社や現場に行くときとても緊張したが、皆さんとても優しく、楽しく実習を終えることができました。僕はまだどんな仕事をしようか決めてないので、実際に現場に行ってみて見学できたことはとても自分のためになったので良かったです。

短い間でしたがたくさんの体験ありがとうございました。

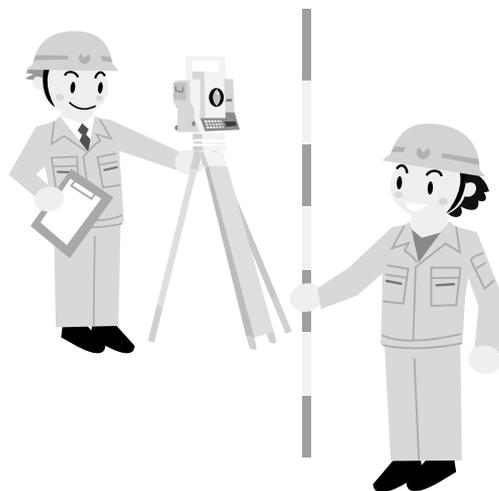
金沢市立工業高等学校2年建築科 中川将史  
(受入れ企業 北川ヒューテック株式会社)

今回の就業体験で初めて知った事や教わった事、また、たくさんの体験をさせて頂きました。私はその中でも特に2つのことが印象に残りました。

1つ目はCADに関する事です。院内保育所前の道路で測量したデータを基に測量図(平面図)をCADで描きました。平面図だけでなく、断面図も作成しなければいけませんでした。時間内には仕上げることができず、平面図だけを提出しました。学校の授業の製図では手描きもCADもトレースしかした事はありませんでした。実際に「自分たちが調べた情報を使って1から図面を描き上げる」という作業は容易ではありませんでした。考えることがたくさんあって大変でしたが、自分で考えながら図面をひいてみるのは楽しかったです。その図面を山本さんに見てもらいましたが、寸法線の引き出し位置1つでも、見る人によっては違って見えてくるので、気を付けるべきだと言われました。その時におっしゃっていた「誰が見てもわかる図面を目指せ」というアドバイスが心に残りました。

2つ目は山本さんが言っていた「現場は生き物だ」という言葉です。現場は日々変わっていくもので、危険な場所や気を付けなければいけない事などが変化していきます。そういった現場の面を表した良い言葉だと思いました。

短い間でしたがたくさんの体験をさせて頂きました。ありがとうございました。



働くことは社会に貢献し自分自身を成長させる行動だと思いました。

金沢市立工業高等学校2年建築科 岡山哲也  
(受入れ企業 北川ヒューテック株式会社)

就業体験を終えて、たくさん学ぶことができました。

まず、本物の現場を見学して従来まで持っていたイメージが大幅に変わりました。想像していた以上に大変で過酷であることがわかりました。測量1つにしてしても1ミリのずれで多大な額のお金が損なわれるということを知り、普段の授業の大切さがより身に染みしました。ただ、それほど大きなことを任せられることによって、大きなやりがいを感じるができるのだなと思い、よりこのような職に就きたいと思いました。

次に、コミュニケーション能力の大切さ、必要さを知りました。入社当初は、知らないことがたくさんあり、先輩に聞くことが多いという話を聞きました。いかに質問しやすい環境を作るかが大切であり、それを作るにはコミュニケーション能力が必要であることがわかりました。また、コミュニケーション能力を身につける方法として、普段の先輩との会話や生活を通して相手のことをよく知ること、話を理解するために必要な知識を蓄えることが必要だということもわかりました。これからの授業や学校生活を、より大切にしていこうと思いました。

私は、就業体験に参加して本当に良かったと思っています。今回の体験で、働くということは、社会に貢献していくとともに自分自身を成長させる行動だと思いました。これからは、このようなことを考えながら、将来について考えていきたいです。

橋建設で働きたいと強く思いました。

金沢市立工業高等学校2年建築科 幡野愛佳  
(受入れ企業 橋建設株式会社)

建築についてわからない事が多くあり、インターンシップに参加させてもらいました。橋建設での体験は、自分にとってとても為になる良い体験になりました。

インターンシップを通して、自分に身についた事は多くあります。自己紹介で自分をどのように表現するか、自分の思いや伝えたい事を相手にどのようにして伝えるか、わからない所の質問など、大人の社会に出た時に大切な事を学びました。インターンシップを受ける前は、建築関係の仕事とはどんな事があるのか、仕事内容はどんな事をするのかなど、全くわからなかったが、インターンシップを通し現場での体験や、写真や資料を使っでの説明で、わからなかった事がわかるようになりました。理解が深まりました。

インターンシップを通して頑張った事もあります。元気に挨拶をする事、相手の目を見て話を聞く事、自分の気持ちを伝える事など、一人の人間として大切な事、社会に出た時に今まで以上に大切となる事、だと思い基礎の事からしっかりやるようにしました。測量や積算、CADやテプラなど現場での具体的な仕事を、覚えながら一生懸命やりました。その中でも元気に一日を過ごす事を心がけました。現場では、「安全第一」なので健康が大切、そしてたくさんの人と接するうえでも大切だと思いました。

反省点もたくさんあります。測量でトランシットの据え付けに時間がかかり、迷惑をかけてしまった事、水槽の大きさを測るのにメジャーの0を押さえていて、引っ張られるたび、0の位置をずらしてしまった事、現場で走ってしまった事、保護用のスポンジ、ラバンベニア板の貼りがあまかった事、など実際に仕事を体験させてもらい、思いもしないミスや、たくさんの注意をうけました。失敗も体験できて、より成長できたと思いました。

社会に出た時はコミュニケーションが大切だと思い、普段から挨拶を大切にしていました。短い会話だけど挨拶ひとつで、相手との距離も縮まると思います。自分の挨拶で笑顔と元気を伝えたいという気持ちで、たくさん挨拶する事ができました。

インターンシップを通し“働く”ということについて考えさせられました。建物が建った時、完成した時、の嬉しさ、お客様の喜んだ顔、職人さんの嬉しそうな顔、たくさんの笑顔があふれる、その一瞬のために頑張っている、頑張れる、と聞いて、私もその一瞬のために働きたい。たくさんの笑顔のために頑張りたい、と思いました。働くとは、どんなに辛く苦しい事があっても、その一瞬のために一生懸命に頑張れる、素敵なお仕事だと思いました。

最後に、インターンシップを受け、橋建設で働きたいと強く思いました。感謝しています。ありがとうございました。

## 地区協会コーナー

白山の恵みを笑顔でもてなす交流の場 4月27日 OPEN  
**「道の駅めぐみ白山」**

(一社)白山野々市建設業協会



完成イメージ

はじめに

「道の駅めぐみ白山」は、道路情報、休憩施設の提供により安全で快適な道路環境づくりの一端を担うとともに、起伏に富んだ地形（ジオ）が育んだ、食・伝統・文化など「オール白山」でもてなすことにより、都市と農村の交流機会を促進し、地域産業の活性化を牽引する拠点施設として、白山市と国土交通省が一体となって整備されました。

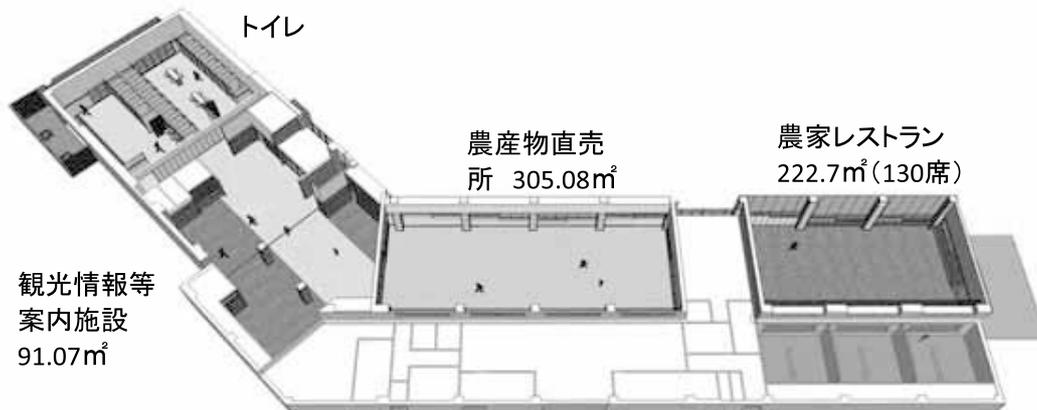
白山市には、これまで「道の駅瀨女」「道の駅一向一揆の里」があり、旧松任地区での道の駅は初めてで、北陸新幹線開業後の更なる白山市の魅力を発信する拠点を目指すものです。

### 全体事業概要

- 事業箇所 白山市小上町・宮丸町地内
- 整備面積 約3.0ha
- 事業期間 平成25年度～平成29年度
- 整備内容
  - ・駐車場226台(小型190台、大型32台、身障者用4台)
  - ・地域振興施設(白山市施工:約1,240㎡)  
地場産品売場、農家レストラン、観光等情報案内等
  - ・情報提供施設、休憩施設、トイレ施設  
(国土交通省:約440㎡)
  - ・その他施設  
非常用発電機、防災倉庫、非常用トイレ、EVスタンド、バス乗降所



4月27日のオープンに向け急ピッチで工事が進められています。



館内配置図

資料提供：白山市産業部道の駅開設準備室

# 今月の「輝き！」さん

No. 36



昭和建設 株式会社 今牛智也さん

業 種：土木技師  
 経験年数：16年  
 年 齢：37歳

穴水町川島の昭和建設(株)の事務所に今月の輝きさんの今牛智也さんを訪ねました。

- 除雪作業が忙しく日程が合わず今牛さんとうまく面接ができました。「今年は大変な大雪でしたがこちらはいかがでしたか？」

今年は12月から雪が降り始め特に2月の始めは大雪となり各地で通行止めや電車や飛行機等の運休が相次ぎました。会社はこの地域の一般道路の除雪の他、能登空港の除雪も担当していますが、能登空港では大雪の時も一便も欠航することなく運航を確保しました。目前が見えない位の降雪時の除雪もありましたが大きな事故もなく、滑走路の安全な運行状態を確保できたことは私たちとしては誇るべき成果だと思っています。

- 今年の能登空港の除雪はどのような態勢で臨まれましたか？

滑走路は11台、駐車場は3台の全14台の重機を使い23名体制で行います。朝は午前8時をめぐり午前4時ごろから除雪作業を開始します。雪の積雪状況によっては午前0時から開始することもありました。私は現場責任者として手順良く作業が進むよう現場指揮を担当しましたが、空港の除雪は滑走路のみならず、駐車場や周辺道路等も含むため大変でした。

- あなたの経歴の他あなたの会社についてお聞かせください。

私は、穴水湾の入江に面する中居というところで、

左官業を営む家の長男として生まれ育ちました。

小・中学・高校・短期大学とも地元の学校に通い、平成14年21歳の時現在の会社に入社しました。勉強よりは運動が好きで小・中学ではバスケットをやっていました。父の左官業の手伝いをしていたこともあり、物づくりに興味があったことや、体を動かす仕事が好きだったことがこの仕事を選んだ動機です。

私が勤める昭和建設は、従業員40名規模の土木・建築を請け負う総合建設会社です。会社は土木・建築・重機・営業・総務で構成され、私は総員25名の土木部に所属し、土木技師として16年が経過しました。32歳の時現場責任者としての資格を取り、現在除雪の傍ら農業用のため池の工事を担当しています。

- 仕事のやりがいや抱負を教えてください。

能登という地域差もあり、これまで大きな構造物を建設する土木工事には携わった経験はなく、土木工事は耕作農地の整備や林道づくり等、農林に関する土木工事がほとんどです。その中でも山間での道路づくりは、何も無いところに道路が出来上がってゆく姿は、携わったものだけが実感する感激です。

会社では私が一番若い技術者です。そのため先輩の技術をできる限り早く習得するよう努力しています。また、現在土木の世界では、ICTというPCソフトを駆使した土木施工が話題となっていますが、これらについても遅れをとらぬよう、勉強を続けてゆきたいと思っています。

- 今牛さんの名前は大変珍しいお名前ですが、ルーツをお聞かせください。

輪島市の洲衛町に1軒ある今牛家が本家と聞いています。この地域だけに現存名前で今牛性は4軒ほどしかありませんが、そのすべてが親戚と聞いていますがそれ以上詳しいことは私にはわかりません。

- あなたの家族についてまた余暇利用についてご紹介ください。

私が22歳の時結婚し中学校3年の15歳長男と10歳の長女との4人暮らしで会社に隣接する社宅に住んでいます。余暇は子供相手にテニスなどして過ごしています。

会社が面する通りは、この町の飲食街で、除雪がある冬場は禁酒にしていますが、それ以外の季節は会社の人とよく利用しています。家も飲み屋も会社に隣接するため、一年を通じほとんどこの辺で過ごしている感じです。

厳寒の中、人知らぬ所で不眠不休で地域の安全安心の確保にあたる建設業の役割の重さを改めて実感しました。そしてそれを支える能登の技術者の気概と粘り強さを感じるインタビューでした。



## けんせつ一番星

「-Sunset Express-MOVE」毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。

## 協会だより

### 地区協会事務担当者説明会の開催

今年度の標記説明会を下記のとおり、県内9地区協会233名出席の下、開催した。

#### 日 程

- 1月29日(月) 河北地区 (25名)
- 30日(火) 珠洲地区 (13名) 鳳輪地区 (38名)
- 31日(水) 七尾地区 (26名) 羽咋地区 (20名)
- 2月 1日(木) 金沢地区 (54名) 白山地区 (19名)
- 2日(金) 加賀地区 (17名) 小松地区 (21名)



#### プログラム

1. ・建設業における法令順守について
  - ・入札・契約制度について
2. 全国建設業協同組合連合会総合補償制度について
3. 東日本保証会社からのご案内
4. 高齢者の雇用のための助成金について
5. 法定外労災補償制度について
6. 経営状況分析にかかる電子申請について
7. ハローワーク金沢からのお知らせ(金沢会場のみ)
8. グループウェアの導入について
9. その他
  - ・建退共制度について

石川県土木部監理課

損保ジャパン日本興亜保険サービス株式会社

東日本建設業保証株式会社石川支店

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構石川支部

公益財団法人建設業福祉共済団

一般財団法人建設業情報管理センター東日本支部

ハローワーク金沢

株式会社アイサス

一般社団法人石川県建設業協会

## 委員会の開催

### 建築委員会

#### 能登地区安全パトロールの開催

安全部会(部会長 連 友也)は、2月20日(火)に、のどじま水族館本館回遊水槽改修工事現場にて、安全部会員8名と(一社)珠洲建設業協会・(一社)鳳輪建設業協会・(一社)七尾鹿島建設業協会・(一社)羽咋建設業協会・河北郡市土建協同組合の地区協会会員15名、計23名の参加にて現場安全パトロールを行った。

連部会長挨拶の後、研修会で、建設業労働災害防止協会石川支部の村内博氏より「最近の労働災害状況について」の説明を聞き、建設業の労働災害が増加中であること、墜落・転落災害の防止、高齢労働者の労働災害の増加、建設業死亡災害多発警報が発令中であることなど説明を受けて安全対策の必要性を確認した。

引き続きパトロールで、県営繕課矢尾志津江主幹による工事概要説明の後、施工業者兼六・小倉JVの坪田寿夫現場代理人の案内により参加者全員で現場安全パトロールとなった。現場は耐震補強工事を終え、アクリル水槽の設置も終え、擬岩ブロックの作成中であり本年3月の完成を目指し内装工事を急ピッチで施工中であった。現場は狭隘なうえ水族館が営業中のため苦勞して施工しているようであった。

パトロール後、建災防協会の村内講師より安全パトロールでの講評を受けた。

なお、今回の安全パトロールは初めてCPD 認定講習として開催したが今後ともCPD 取得の機会を増やしていきたい。



## 土地改良委員会

### 技術検討部会と県農林水産部との意見交換会の開催

技術検討部会（部会長 小柳 誠）は、2月20日（火）に金沢ニューグランドホテルにおいて、平成29年度「県農林水産部との意見交換会」を農林技術管理室の北出一郎室長、山本 譲課長補佐、農業基盤課の松村武志担当課長の3名をお迎えして、技術検討部会から小柳部会長他19名の計22名が参加して開催した。



冒頭、小柳部会長の開会挨拶と北出室長の来賓挨拶の後、意見交換会が始まり、最初に県からの情報として、農業基盤課の松村担当課長から

「平成29年度補正及び平成30年度農業農村整備事業関係予算の状況について」

また、農林技術管理室の山本課長補佐から

1. 「社会保険未加入対策、社会保険等未加入下請負人に関する報告書の作成・提出について」
2. 「石川県電子納品ガイドラインの改定について」
3. 「請負契約締結から現場着手まで相当な期間が見込まれる工事における配置予定技術者等の取扱について」
4. 「建設工事における働き方改革の取り組みについて」

の説明がなされた。

その後、部会員からの県への意見・要望では、「4月1日より金抜き設計書がPDFに変更されるが、電子入札時の内訳書はどの様な対応になるのか」や「水替工では作業時排水ではなく常時排水での積算や、敷鉄板の適切な計上、資材などの小運搬の計上など、実施工に即した設計で積算して頂きたい」、など様々な意見や要望が出され、県からは「内訳書はExcel、Word、PDF等読み取り可能な形式で県が提出した様式を準用して提出すること」また、「実施工に即した設計積算は、現場状況により当初設計より計上は可能である。任意仮設であっても設計図書に示された施工条件が実際の現場条件と合わない場合は、経済的、合理的な工法比較の上、妥当であれば設計変更は可能であるので、今後その様なことのないよう適切な積算となるよう徹底したい。」などの回答を得るなど、土地改良委員会にとって有意義な「意見交換会」となった。

## 広報・研修委員会

### 企画部会の開催

企画部会（部会長 高田直人）は、2月16日（金）午前10時30分から石川県建設総合センター会議室において開催された。冒頭高田部会長が2月8日より実施予定であった委員会の研修旅行が今般の大雪のため中止となった事を報告するとともに、近年話題となっている建設産業の生産性向上システムや働き方改革に触れ時代が変化している旨の挨拶を行った。



引き続き部会の議題について次の通り審議報告がなされた。

1. 協会報3月号について  
協会3月号の編集計画が事務局より説明がなされ了承された。
2. その他  
協会報が読者にとって興味をもって読まれるよう掲載記事の見直しを含めた意見交換がなされた。

## 石川県土木施工管理技士会だより

### JCM セミナー（DVD 講習会）の開催

石川県土木施工管理技士会（会長 江口介一）は、2月23日（金）に（一社）小松能美建設業協会の会場においてJCM セミナー（DVD 講習会）を開催した。

この講習会は、DVDによる2つの講義（仮設構造物の設計と施工（土留め工） 工事の品質と生産性向上のための手引き）を受講することにより、CPDSが6ユニット付与される。

今回は24名の参加があり、出席者は熱心に講義を受講していた。

当技士会では、今後、同様のDVD講習会を3月16日（金）に（一社）七尾鹿島建設業協会にて開催を予定している。



---

国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催

---

平成29年度

## 「私たちの主張」応募作品の紹介

### 「建設業の未来」

株式会社 豊蔵組 井上 将

私は時々「この業界の労働者数が現在の半分以下になったら、今までのやり方は通用するのだろうか」と考える。

私の実家は鉄工所を営んでいる。Rグレードと規模は小さいが、戦後まもなくに曾祖父が始めてから現在まで続いている。ある日実家に帰って感じたこと、それは私が子供の頃から今までの間、工場での作業内容が全く変化していないのである。もちろん事務所の電子機器類や工場内の機械の性能は向上しているが、鉄鋼の加工など、肝心の作業内容は10年前とさほど変わっていないのである。また、業界全体の深刻な人手不足と高齢化が叫ばれる今日、私の実家もその限りでなく、私が子供の頃から少なくとも3人が高齢化のため仕事を辞めており、新しく入社した人数はこの10年で1人だけである。

そして私の実家と同様な状態が、この業界にも広がっているのである。

私はそこで、建設業の今後を支えるには、生産・施工の自動化が必要になると考える。

単に自動化と言っても想像がつきにくいと思うが、良い例として工場内の材料の自動運搬機がある。これは主に自動車や電子部品の生産ラインに用いられているが、同様の技術を利用すれば現場内の材料運搬などに利用することができ、運搬にかかる労力を低減することが可能になる。そのほかにも、最近では身近になっている航空ドローンを、先で述べたような自動運搬機器として利用す

るほか、簡易的な作業の代替にも用いることで、労働力の代替が可能になるのではないかと考える。

また、生産・施工の自動化のメリットは労力の削減以外にもある。例えば、躯体三役と言われる仮設工事・型枠工事・コンクリート工事であるが、これらは他の業種より多くの労務を必要とするだけでなく、高所などの悪条件下での作業が多くなる業種でもある。それらの業種の自動化は、減少する労働力を補充するだけではなく、危険の伴う作業を低減し、なおかつ、労働災害の防止にも繋がるのである。しかし、生産自動化の実現には、まだ多くの課題が残されている。

一つは機械の問題である。建設現場という複雑で過酷な環境、夏は暑く、冬は寒い屋外での作業と、高所・悪路と足元もおぼつかない状況の中で作業が可能な機械が必要となるのである。そしてもう一つは、それらの機械を制御・管理する人の問題である。いくら機械が現場に対応したところで、それを扱う人間がついていけなければ何の意味もなさない。そのため、高度な機械を利用するための知識を事前に取り入れる必要が出てくる。そして、これらの問題を解決しない限り、生産自動化は夢の話のままとなってしまう。

それでも、私たちは来たる時に備えなければならない。多くの人の力で成り立ってきたこの業界に機械の力が必要になる時代が必ずやってくると私は思う。今でもその兆しは十分に感じられるところに来ているのである。

# 業界時報

## 労働災害発生状況 ～建設業労働災害防止協会～

署別・業種別件数（平成30年分）

平成30年1月末 速報

業種別 署別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署					1	16
小松監督署					2	15
七尾監督署		1		1	2	3
穴水監督署						1
計		1		1	5	35
前年同期		(1) 4	1	(1) 5	5	40

( )内は木建工事 内は死亡者数

## 平成29年度 建設工事受注高調（元請）

民間

（単位100万円）

	土 木			建 築			計		
	29年度	28年度	%	29年度	28年度	%	29年度	28年度	%
11月分	108	285	37.9%	1,210	2,891	41.9%	1,318	3,176	41.5%
12月分	124	404	30.7%	1,695	2,797	60.6%	1,819	3,201	56.8%
1月分	62	364	17.0%	952	1,145	83.1%	1,014	1,509	67.2%
年度累計	3,439	4,227	81.4%	24,592	20,529	119.8%	28,031	24,756	113.2%
27年度累計		2,723	126.3%		23,368	105.2%		26,091	107.4%
26年度累計		3,458	99.5%		18,917	130.0%		22,375	125.3%

官公庁

	土 木			建 築			計		
	29年度	28年度	%	29年度	28年度	%	29年度	28年度	%
11月分	3,910	3,616	108.1%	5,219	192	2718.2%	9,129	3,808	239.7%
12月分	2,348	2,577	91.1%	3,245	414	783.8%	5,593	2,991	187.0%
1月分	2,005	3,325	60.3%	750	191	392.7%	2,755	3,516	78.4%
年度累計	31,684	41,249	76.8%	17,638	10,960	160.9%	49,322	52,209	94.5%
27年度累計		34,909	90.8%		12,956	136.1%		47,865	103.0%
26年度累計		41,475	76.4%		16,092	109.6%		57,567	85.7%

合 計（民間+官公庁）

	29年度	28年度	%		29年度	28年度	%
11月分	10,447	6,984	149.6%	年度累計	77,353	76,965	100.5%
12月分	7,412	6,192	119.7%	27年度累計		73,956	104.6%
1月分	3,769	5,025	75.0%	26年度累計		79,942	96.8%

## 会員消息

今回届け出があったのは次の2件でした。

変更

会社名	変更前	変更後	変更年月日
	代表者	代表者	
太陽工業株式会社	木本 重治	清水廉太郎	平成30年1月25日
株式会社サンテック	林 義雄	林 義勝	平成30年1月11日

なお、変更があった時点で届出頂くようお願い致します。

## 県協会からのお知らせ

### 平成30年3月行事予定

- 3月 1日(木) 全国建産連 総務委員会 (東京 建設業振興基金)
- 5日(月) 正副会長会議
- 7日(水) 全建 総合企画委員会 (東京 東京建設会館)
- 8日(木) 北陸3県技士会と北陸地方整備局との意見交換会 (新潟市アートホテル新潟駅前)
- 9日(金) 石川県協同募金会配分委員会 (石川県社会福祉協議会)
- 建設業決起集会
- 11日(日) 経理士検定試験 (石川県建設総合センター)
- 13日(火) 北陸青年会議 北陸地方整備局企画部との意見交換会 (新潟県建設会館)
- 14日(水) 会報編集委員会
- 15日(木) 全建 理事会・協議員会 (東京 経団連会館)
- 建退共本部 第36回運営委員会・評議員会 (東京 経団連会館)
- 16日(金) JCMセミナーDVD講習会(七尾鹿島建設業協会)
- 雇用対策特別委員会
- 建設業福祉共済団 会長会(東京 経団連会館)
- 建設業振興基金 参与会 (東京 経団連会館)
- 建設業労働災害防止協会 理事会 (東京 経団連会館)
- 建設廃棄物の適正処理に係る講習会
- 北陸ICT戦略推進委員会 (北陸地方整備局)
- 19日(月) 広報・研修委員会
- 20日(火) 土地改良委員会 全体会議 (ANAホリディ・イン金沢スカイ)
- 22日(木) 建退共支部事務局長会議(東京 リビエラ東京)
- 暴力団等対策特別委員会
- 23日(金) 全建 専務・事務局長会議 (東京 鉄鋼会館)
- 土木用コンクリート製品評価委員会 (北陸地方整備局)
- 26日(月) 土木委員会役員会
- 土木委員会舗装部会 (金沢市内)
- 29日(木) 事務局打合せ (2階 役員室)

### 平成30年4月以降の行事予定

- 4月 3日(火) 正副会長会議
- 常任理事会
- 10日(火) 新入社員研修開講式
- 23日(月) 東日本建設業保証 取締役会(東京 本社ビル)
- 25日(水) 全建 理事会
- 5月 7日(月) 正副会長会議
- 14日(月) 理事会 建災防・組合・協会
- 16日(水) 全建協連 総会 (東京 東海大学校友会館)
- 25日(金) 総会 建災防・組合・協会
- 26日(土) 手取川・梯川総合水防演習 (能美郡川北町(辰口橋下流左岸河川敷))
- 30日(水) 全建 理事会・表彰式・総会 (東京 経団連会館)
- 全建 70周年記念パーティー (東京 経団連会館)
- 全国技士会連合会定時総会・表彰式 (東京 アルカディア市ヶ谷)
- 6月 4日(月) 正副会長会議
- 常任理事会
- 26日(火) 東日本建設業保証 株主総会・取締役会 (東京 本社ビル)
- 全建協連 専務・事務局長会議 (東京 東海大学校友会館)
- 10月16日(火) 北陸建設業協会地域懇談会 (ホテル日航金沢)

### 「協会報」への随筆等投稿(お願い)

- 随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚(1,200字以上)
- 投稿の期日 毎月25日頃(翌月号の編集締切り)
- 協会報の発行 毎月1日発行 (毎月10日前後納入、会員送付)
- 謝礼 投稿頂いた記事について薄謝(図書券)贈呈

(注) お問い合わせは、  
 (一社)石川県建設業協会事務局広報担当  
 TEL 076-242-1161 (代) 内線40番

## 地区協会からのお知らせ

### (一社)金沢建設業協会

《行事予定》

- 3月 2日(金) 献血奉仕活動
- 14日(水) 青年：情報発信セクション
- 15日(木) テレビ講座
- 20日(火) 青年：技術防災セクション
- 23日(金) 金沢市入札制度説明会
- 28日(水) 理事会
- 30日(金) 青年：幹事会

### (一社)加賀建設業協会

《行事予定》

- 3月 8日(木) 建防災加賀分会 安全パトロール
- 14日(水) 監理技術者講習

### (一社)小松能美建設業協会

《行事予定》

- 3月 6日(火) 県建設会総会
- 8日(木) 監理技術者講習
- 18日(日) こまつ水辺クリーンデー参加協力  
執行部会、理事会

### (一社)白山野々市建設業協会

《行事予定》

- 3月 8日(木) 献血活動
- 22日(木) 理事会
- 27日(火) 県議(白山市、野々市市選出)との意見交換会

### 河北郡市土建協同組合

《行事予定》

- 3月中 役員会

### (一社)羽咋郡市建設業協会

《行事予定》

- 3月 6日(火) 土木部会役員会
- 8日(木) 監理技術者講習会
- 27日(火) 理事会
- 下旬 河川堤防等の点検パトロール(土木部会)

《お知らせ》

- 4月25日(水) 監事会
- 26日(木) 理事会
- 5月22日(火) 定時総会

### (一社)七尾鹿島建設業協会

《行事予定》

- 3月 4日(日) 能登和倉万葉の里マラソン2018  
ボランティア活動

《お知らせ》

- 4月 4日(水) 監理技術者講習会

### (一社)鳳輪建設業協会

《行事予定》

- 3月15日(木) 能登産業技術専門校修了式
- 19日(月) 地区協会事務担当者連絡会議
- 下旬 奥能登土木委員会役員会

### (一社)珠洲建設業協会

《行事予定》

- 3月15日(木) 監理技術者講習会
- 石川県立能登技術専門校平成29年度後期修了式
- 22日(木) 理事会
- 下旬 事故発生訓練(安全対策協議会)

## 関係機関からのお知らせ

# 平成30年版「建設業労務安全必携」頒布について

1

発行期日

書 籍 平成30年4月1日  
CD-ROM 同上

2

定 価

書 籍 1冊 2,400円(消費税込・送料別)  
CD-ROM 1枚 8,000円(消費税込・送料込)

3

申込み先

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-5-1 東京建設会館5階  
建設労務安全研究会  
TEL (03)3551-5277 FAX (03)3551-2487  
E-mail : ro-ken@ro-ken.net

# 加賀市は特定行政庁に移行します

(平成30年4月1日から)

平成30年4月1日から石川県から権限の委譲を受け、建築基準法第4条第2項の規定による建築主事を置き、特定行政庁に移行します。これにともない、全ての建築物に関する建築確認や許可等を加賀市にて取り扱うこととなります。主な事務は下記の通りです。

建築基準法に基づく建築物、工作物、建築設備等の確認・検査

建築基準法に基づく許可・認定

建築基準法に基づく定期報告の受理

建設リサイクル法、建築物省エネ法に基づく届出

長期優良住宅、低炭素住宅の認定

建築計画概要書の閲覧、台帳記載事項証明書の発行等

# 加賀市建築基準条例が制定されました

(平成29年12月19日 公布)(平成30年4月1日 施行)

加賀市では建築基準法に基づき「加賀市建築基準条例」を制定しました。この条例は、これまで適用されてきた「石川県建築基準条例」から移行するものであり、加賀市の地域特性に即した安全で快適なまちづくりを推進するために災害防止等に関して必要な事項に関する規定を定めております。

## 石川県建築基準条例との主な相違点

### がけ付近の建築物（第6条）

「がけ」の上に建築物を建築する場合、雨水、汚水の排水ががけ面を流下し、擁壁の裏側又はがけに浸透しないように排水施設を設けることで地盤の保全に努めるように配慮して下さい。

### 自動車車庫、自動車修理工場及び倉庫に係る敷地の出入口（第17条）

県条例では50m<sup>2</sup>を超える自動車車庫への規制でしたが、加賀市の地域性を考慮し、県条例の規制の緩和を行うものです。市条例では100m<sup>2</sup>を超える自動車車庫が対象となります。

### 日影による中高層の建築物の高さ制限（第19条）

日影による中高層の建築物の高さの制限区域等を指定するものです。

新たに、用途地域に指定のない区域についても規制します。

「加賀市建築基準条例」「加賀市建築基準条例解説」「石川県建築基準条例と加賀市建築基準条例の対照表」は加賀市ホームページ（下記URL）にて閲覧頂けます。

<http://www.city.kaga.ishikawa.jp/kensetu/kenchiku/kenntikukijunnjoure.html>

お問い合わせ先

加賀市建設部建築課建築係

電話：0761-72-7935（直通）